

中小企業タイムズ

10月号
2013年
第683/258号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- ものづくり支援補助金 県内2次採択企業が決定 …… 1面
- 業界の動向(8月県内)／業界の声 …… 3面
- 組合や団体の取り組みを紹介 …… 4～5面
- 大学生がインターンシップの体験を報告 …… 6面

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

9月の出来事

- 時事
 - 7日 2020年東京五輪が決定
 - 13日 100歳以上、最多5万4300人
 - 14日 新型ロケット「イブシロン」打ち上げ成功
 - 16日 大型の台風18号上陸、各地で甚大な被害初の特別警報発令
 - 20日 ドコモのiPhone販売開始
- 山梨県中央会ニュース
 - 5日 関プロ中央会指導員会議
 - 6日 山梨県食品産業協議会通常総会
 - 6,13,20日 組合実務講習会
 - 12日 青年部代表者会議
 - 中小企業組合まつり第1回実行委員会
 - 19日 事務連絡協議会視察研修(新潟県)

10月の予定

- 15日 第17回郡内地域組合交流会
- 19日 第44回中小企業ゴルフコンペ
- 23日 レディース中央会全国フォーラムin鳥取
- 24日 第65回中小企業団体全国大会

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業 2次公募採択事業者

事業者名	事業計画名
(有)フィット	精密電動レベリングブロックの開発
(株)道志化学工業所	プラスチック射出成形におけるエジェクタ制御を利用したガス抜き工法の開発
三栄精工(株)	多品種・少量・短納期に対応した自動検査装置の開発による品質保証体制の構築
(株)石友	新素材[パラジウム]を用いた健康ジュエリーの製造による試作開発
(株)石山	改良型押出成形機の導入による「ビーズ法発泡スチロール製品」の高効率・低コスト生産の実現と試作開発。
(株)石原精機製作所	ガス器具部品の安定供給と試作品の開発による安全性の追求
(株)アズマ工機	半導体レーザーを用いた微細モデル専用の小型3Dプリンターの開発
(株)信和	3Dプリンタの欠点を克服した金属材料超短納期多品種一括加工試作プロセスの確立
サンリツテクノ(株)	大口径セラミックスの高精度平坦化技術の確立と評価システムの構築
(株)渡兼	医薬品包装機向け等の部材の製造における短納期・小ロット・高精度化対応のための設備導入および加工プロセスの確立
北富士オリジン(株)	抵抗溶接機用トランスの革新的小型・軽量化
クラウンファスナー(株)	自動車用精密部品の高速度画像検査処理装置の開発
(株)クオファーム	可視光対応ハイブリッド光触媒塗料開発と小ロット生産体制確立
(株)ギリオン	機能性素材(セラミック等)を組織中に含有する貴金属材料及び同装身具の開発
(有)塚原製作所	河川に置くだけで発電できる小水力システムの試作開発
甲陽電気	用水路や小河川に適した小水力システムの試作開発
(株)中家製作所	大物板状製品簡易側面切削加工機の開発
(株)光彩工藝	新素材の試作開発・連続製造による板材の開発およびヘッダー加工開発
(株)昭栄技研	液体炭酸ガスによる機能性フィルム開発用試験装置の試作開発
アイトー電子(株)	地域ニーズに対応した超小型EVモビリティの開発
(株)システムインナカゴミ	人型小型ロボットによる独居高齢者見守りシステムの開発
(株)山梨技術工房	低価格/小型化 次世代半導体向け光散乱センサユニット搭載表面検査装置の開発。
ジット(株)	「インクジェットプリンター向け高機能インクと専用ヘッドの開発」
笹一酒造(株)	真摯に日本酒と向き合い、酒造りを一から見直し、伝統技術をより高める
(有)甲進化成	高精度中形射出成形プラスチックの開発
ワイエス電子工業(株)	双極子プラズマによるコーティング膜着脱両用装置の開発
(株)Toshin	「水の流れ解析・低損失トルク伝達技術による国際規格対応ローコスト水道メータの開発」
京西電機(株)	熱の発生を大幅に抑制する回生型充電電源試験装置の製品化
(株)コイケ	弾性表面波デバイス用タンタル酸リチウム単結晶の高収率育成技術開発
井出酒類販売(株)	酒粕と麴の両者の相対性を発酵技術により融合させた挑戦的かつ画期的商品。
(株)平山ファインテクノ	直接描画技術を活用した高密度プリント基板のソルダーレジスト形成工法の開発
(株)マステック	水晶片の視認と周波数の微調整が可能な水晶振動子のクリスタルパッケージ開発

ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業(以下、「ものづくり補助金」という)は、平成25年1月に閣議決定された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」の実行のため、平成24年度の補正予算事業として編成され、全国で1万社を超えるものづくりに取

り組む中小企業・小規模事業者が行う試作品の開発やそれに伴う設備投資等に要する経費の一部を補助し、ものづくり企業の競争力強化を支援、我が国製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と好循環を促し、経済活性化を美

2次公募、本県では32件が採択

ものづくり中小企業・小規模事業者 試作開発等支援補助金

●平成24年度補正

現することを目的とし、その規模は1,000億を超えるものである。

本事業の募集は、1次公募が3月15日から4月15日まで行われ、3月25日を一次締切、4月15日を二次締切として、全国では1万2千件以上の応募の中から4,904件が採択、また6月10日から7月10日まで行われた2次公募は、8月30日に公表され、1次とほぼ同じく1万2千件余りの応募の中から5,612件が採択され、本県では1次・2次あわせて73件の事業が採択された。(2次公募採択事業者一覧は別表のとおり)

なお、平成24年度補正予算におけるものづくり補助金は2次をもって公募終了となった。

本事業において地域事務局を務める中央会では、2次公募採択事業者への補助金交付申請に係る説明会を9月10日、中小企業人材開発センター会議室において開催し、採択企業31社より70名の参加があった。

2次公募採択事業者は、今後補助金交付申請を行い、補助金交付決定後から平成26年8月まで、それぞれの事業に取り組んでいくこととなる。



補助金交付申請説明会

増税に向けた準備は万全ですか？

消費税が来年4月から8%に引き上げられます!!

本会では消費税転嫁に関する相談を随時受付中です

10月から消費税特別措置法が施行され、平成26年4月1日の増税に向けた準備期間まで半年を切りました。

増税による駆け込み需要、価格の検討や表示方法、契約書等や経営全般の見直し、製造業や建設業など契約と引渡の時期が4月1日をまたぐケースの対策など、業種や実施事業によって対応すべき問題は様々です。

本会では、消費税の増税によって生じる課題や疑問に対して、組合等が円滑に消費税を転嫁できるよう専門家による講習会の開催や個別相談窓口を設置することになりました。

ぜひ、この機会にご利用いただき、適正な組合等運営の一助にしたいと思っております。

消費税転嫁対策に関する講習会の開催や相談窓口の設置及び専門家の派遣を行っています!

●講習会の開催

県内の中小企業組合の役員職員等を対象とした消費税改正等に関する講習会を2回開催します。

開催時期……11月と12月予定

●個別相談窓口の設置

個別相談窓口を設置し、中小企業組合から寄せられる消費税率の引上げや制度改正等によって生じる個別課題等に対して、指導員及び専門家が対応します。専門的な相談内容については、専門家による直接対応となります。

●専門家派遣事業

専門家の個別指導を受けることを希望する中小企業組合等を対象として、専門家を派遣します。

●何れの場合も無料です。

お問い合わせ

消費税転嫁についてのご相談は、☎055-237-3215(中央会連携支援観光課)までご連絡下さい。

I 消費税の転嫁拒否等の行為の是正に関する特別措置

平成26年4月1日以降に供給する商品又は役務について、消費税の転嫁を拒む行為等が禁止されます。適用対象となる主な取引及び禁止される行為は以下のとおりです。

転嫁拒否をする側(規制対象)(買手)	転嫁拒否をされる側(売手)
大規模小売事業者	大規模小売事業者と継続的に取引を行っている事業者
資本金3億円以下の事業者と継続的に取引を行っている事業者等	資本金3億円以下の事業者等

禁止される行為	具体例
①減額	本体価格に消費税分を上乗せした額を対価とする旨契約していたが、消費税分の全部又は一部を事後的に対価から減じること
②買ったたき	原材料費の低減等の状況変化がない中で、消費税率引上げ前の税込価格に消費税率引上げ分を上乗せした額よりも低い対価を定めること
③購入強制・役務の利用強制・不当な利益提供の強制	消費税率引上げ分を上乗せすることを受け入れる代わりに、取引先にディナーショーのチケットを購入させること
④税抜価格での交渉の拒否	消費税抜価格(本体価格)で交渉したいという申出を拒否すること
⑤報復行為	転嫁拒否をされた事業者が、①～④の行為が行われていることを公正取引委員会などに知らせたことを理由に、取引の数量を減らしたり、取引を停止したりするなど、不利益な取扱いをすること

違反行為を防止又は是正するため、公正取引委員会、主務大臣、中小企業庁長官が必要な指導・助言を行います。また、違反行為があると認めるときは、公正取引委員会が勧告を行い、その旨を公表します。

Iに関する問い合わせ先:公正取引委員会取引企画課03-3581-5471(代表)

II 消費税の転嫁を阻害する表示の是正に関する特別措置

平成26年4月1日以降に供給する商品又は役務の取引について、消費税分を値引きする等の宣伝や広告が禁止されます。禁止される表示は以下のとおりです。

禁止される表示	禁止される表示の具体例
①取引の相手方に消費税を転嫁していない旨の表示	「消費税は転嫁しません」 「消費税は当店が負担しています」
②取引の相手方が負担すべき消費税に相当する額の全部又は一部を対価の額から減ずる旨の表示であって消費税との関連を明示しているもの	「消費税率上昇分値引きします」
③消費税に関連して取引の相手方に経済上の利益を提供する旨の表示であって②に掲げる表示に準ずるもの	「消費税相当分、次回の購入に利用できるポイントを付与します」

違反行為を防止又は是正するため、消費者庁、公正取引委員会、主務大臣、中小企業庁長官が必要な指導・助言を行います。また、違反行為があると認めるときは、消費者庁が勧告を行い、その旨を公表します。

IIに関する問い合わせ先:消費者庁表示対策課03-3507-8800(代表)

皆様の設備投資を応援します!

設備貸与制度

- 中小企業者の皆様が、事業に必要とされる設備をやまなし産業支援機構が代わって購入し、長期・低利で割賦販売またはリースする公的制度です。

- この制度は、金融機関や保証協会の利用状況とは別に利用できます。

☆利用限度額:100万円~最大1億円

☆返済期間:最長7年

☆割賦金利:1.8%~2.45%(基準金利2.4%)

☆月額リース料率:1.357%~2.996%(7年リース:1.387%)

- 設備投資の計画がある方は、山梨県中小企業団体中央会またはやまなし産業支援機構へお気軽にご相談下さい。

公益財団法人やまなし産業支援機構 設備支援課 山梨県甲府市大津町2192-8(アイメッセ山梨3階) Tel.055-243-1888

※ホームページでもご案内しています。 URL▶<http://www.yiso.or.jp>

東京五輪に期待

ibuki

息吹

2020年夏季オリンピック大会の東京開催が9月7日に決定しました。政府は「スポーツ庁」創設の検討に入るなど、スポーツ人材の育成をはじめ、スポーツ振興が大きく進むものと思えます。

加えて、東京五輪開催は、経済界としても経済効果に期待が持たれているところで、東京都は、競技施設の改修や東京ベイエリアに新たな選手村建設と併せて、首都高速の改修工事なども予定しており、投資額は5,000億円ともいわれています。また、各調査機関も経済波及効果を発表しており、東京オリンピック・パラリンピック招致委員会は、約3兆円の経済波及効果があると試算しています。ただし、日本のGDP約480兆円からは僅かな金額との評価もあるところで、ところどころで、本会の情報連絡員の情報では、昨年末の政権交代以来、アベノミクス効果から、原材料や電力料金の高騰等の影響により売上高や収益状況には月毎のバラツキがあるものの、景況感には3月を除き着実に回復傾向を示しています。また、6月には富士山の世界遺産登録に日本中が沸き、観光を中心とする経済効果が話題となったところで、今回の東京五輪決定の瞬間は、早朝にも関わらずテレビ中継を見た方も多いと思います。日本各地の歓喜の場面も映し出され、日頃スポーツにあまり関心のない人達も興奮を覚えたに違いありません。東京五輪開催の支持率も66%から9割近くまで上昇したと報道されました。

経済の成長・発展には企業や国民の活力が必要とされています。県内中小企業の景況感が回復する中で、富士山の世界遺産登録、東京五輪開催と山梨県にとっては活力の泉となる話題が続いており、早速、東京五輪に付随して、リニアの早期部分開業が話題となっています。五輪開催は、私たちに夢や希望を与えるイベントであることに間違いはなく、県内中小企業や従業員が活気を出すことで、3兆円の経済波及効果に+αの経済効果が限りなく拡大してその恩恵を引き出すことを大いに期待します。

山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県8月の景況は、全業種のDI値が、売上高-6(前年同月比+8)、収益状況-18(前年同月比+12)、景況感-14(前年同月比+22)となっており、前年同月比は全ての項目で大きく改善した。業種別のDI値では製造業で、売上高-30(前年同月比-25)、収益状況は-30(前年同月比-5)、景況感-30(前年同月比-5)。非製造業では、売上高+10(前年同月比+30)、収益状況-10(前年同月比+23)、景況感-3(前年同月比+40)となった。

前月比では、製造業の売上高は15ポイント、収益状況は25ポイント、景況感は20ポイントと全ての項目で大きく悪化した。非製造業では、売上高は不変であったが、収益状況が3ポイント、景況感が10ポイントとDI値が改善した。

情報連絡員による県内の8月の業況報告は、全国的に猛暑となり夏季関連商品等に好影響をもたらした。また、消費税率引き上げ前の駆け込み需要や緊急経済対策効果による公共投資の本格化により建設業を中心に関連業種へと改善の広がりが伺える報告が多く見られた。

製造業では、原料や燃料等の値上げによる利益確保が難しいとの報告が多かった。また、アベノミクス効果による景気回復の兆しはあるものの、中小企業の現場までは到達していないとの報告もあった。

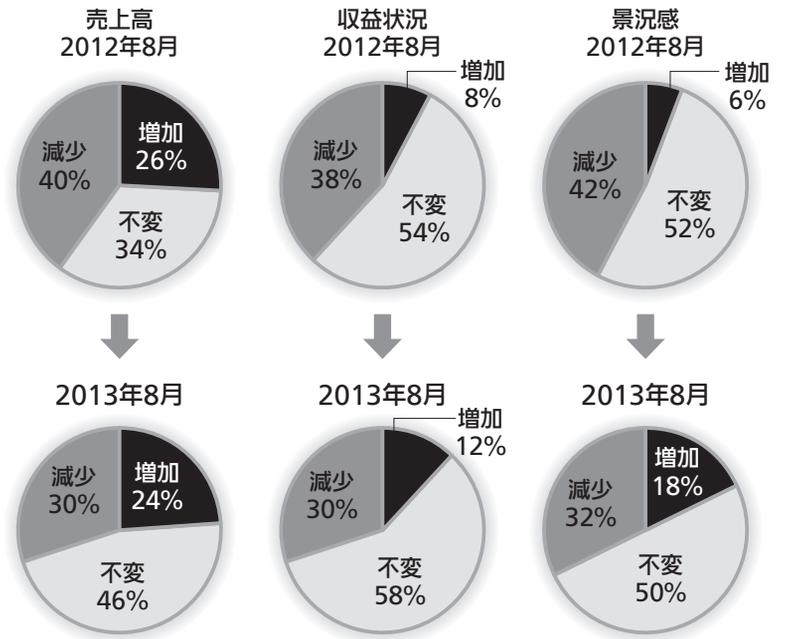
非製造業は、シリアなど不安定さを増している中東情勢等の動向による為替変動リスクや輸入価格の上昇、原材料高や労務費高騰などコスト負担が高まることを懸念する報告も多く見られた。

業界の動き

平成25年 8月分



データから見た業界の動き(平成25年8月分)



トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測(売上高・原材料等経費・資金繰りなど)についてコメントを求めた。

業界から一言

製造業

●食料品(水産物加工)／伊勢エビや鮑等の生鮮の取り扱いやギフト関係も好調。全体の売上は、前年同月比109%。円安による輸入原料の高騰で利益率は低下。

●食料品(洋菓子製造)／猛暑の影響からデパート関連が前年度割れとなったが、量販店や輸出向け等は依然好調。全体の売上は、前年同月比113%。

●食料品(菓子)／猛暑が続き売上が低下。

●家具製造／アベノミクス効果の影響が多少景気が好転。

●鉄鋼・金属(1)／電気・電子デバイス関連は、引き続き不調。自動車関連は、ハイブリッド車の人気によりメーカーからの部品受注により繁忙。先行きは不透明。

●電気機器／アベノミクス効果が少しづつ出てきている感があるが、まだ小規模や零細企業にまでは実感が無い。

●非製造業
●小売(青果)／猛暑のため

●野菜は高値で推移したが、果実は消費不振により価格が低下。

●小売(食肉)／猛暑の影響で売上が減少。米国産を中心とした食肉が高騰しているため利益確保が難しい。

●小売(電機製品)／猛暑によりエアコン・冷蔵庫が好調、全体の売上の牽引となった。

●小売(石油)／エジプトの政情不安とシリア情勢の緊張感が高まり、中東原油が高騰したため原油の輸入コストも上昇しているが、県内の小売価格は横ばいで推移。

●商店街(1)／猛暑のため来街者が減少。昨年春オープンした衣料品店が、今月末で閉店し郊外に移転する。

●商店街(2)／富士山世界文化遺産登録やアベノミクス効果等で観光客が若干増加傾向。空き店舗も飲食系の出店により街全体が良いムードになりつつある。

●不動産取引／来春の消費税増税に伴い住宅取得減税や補助金制度等により住宅の駆け込み需要が減少。

●宿泊業／陸上の関東大会やお盆の客足も昨年より微増。富士山世界文化遺産登録や夏の各種イベントの定着により集客効果が上がった。

●美容業／猛暑により髪を短くする人が増加傾向にあるが、客単価は減少。

●警備業／夏季イベントや公共工事の増加等により収益が改善傾向にある。また、一部の発注工事における労務単価も500円上昇した。交通誘導員の不足が深刻化。

●建設業(鉄構)／首都圏の発注工事が活発なため、県内業者の多くは県外からの受注機会が増加。県内の物件見積りも増加傾向。

●設備工事(管設備)／7月の山梨県の新設住宅着工戸数は、359戸(前年同月比23戸減)、甲府市については、62戸(前年同月比56戸減)。着工減による資材の共同購買事業等への影響が懸念される。

●運輸(タクシー)／地域適正車輛数の規制強化に伴い1台減車になり、売上は昨年に比べ減少したが、乗務員1名平均の売上は微増。

●運輸(トラック)／燃料価格の高騰と労働時間の管理強化で収益、売上共に厳しい。

業界の声

山梨県生花商業組合

代表理事 岡村 満氏



業界の現況は？

長引く経済環境の低迷に加え、流通経路の変革や顧客ニーズの多様化など生花業界を取り巻く環境は益々厳しい状況にある。

法人や個人のギフト花の需要の減少、スーパーや量販店の販売競争、少子化に伴う婚礼市場の縮小等により生花店が生き残る道は険しくなるばかりである。

一方、葬儀件数は、年々増加傾向にあるが葬儀の形は価値観やライフスタイルの変化に伴い「白木祭壇」から個人が好きた花に囲まれた「生花祭壇」の需要が高まっている。しかし、生花祭壇は、柔軟な対応力や高い技術力が求められる。

そのため、お客様の多様化するニーズにこたえるべく花束やラッピング、葬儀花等のセミナーを重ね熟練者はもちろん、若い従業員の技能向上を積極的に図っている。

今後の展開は？

ここ数年、組合員同志のレベルアップを強化するため技能や経営セミナーの実施に注力してきた。今後は、組合内検定制度を設け全国大会に組合を代表して出場できるように組織強化を図っていききたい。

また、1年間に1度も花を購入しない世帯がおよそ6割あると言われていた。花には様々な心理的効果があるため、生活に花を取り入れてもらえるよう「花育」事業にも取り組んでいきたいと考えている。

そのためにも、時代の変化に遅れないよう日頃から高いアンテナを張って情報を収集し迅速な対応ができるよう努めている。たいと考えている。



研修風景

「富士山」テーマの ファッション展示会に出展

ACTIVE KUMIAI

山梨県絹人織織物工業組合



機織り体験のブース

ファッションとデザインの合同展示会「rooms（ルームス）」（アッシュ・ペー・フランス株式会社主催）が9月11日（水）～13日（金）、国立代々木競技場第一体育館にて開催された。

「rooms」は、2000年に13ブランドからスタートし、現在では約600ブランドが参加する、日本で最も早い時期に行われている展示会

である。独自に発信するクリエイターの世界観を「部屋」「rooms」と捉え、その集合体である合同展示会を「rooms」と位置づけており、各地よりバイヤーやジャーナリストが訪れ、新しい出会いやビジネスが生まれるという。東日本大震災以降、「日本」をキーワードにテーマを掲げてきたが、今回、日本や文化を象徴する「富士山」をテーマに様々な企画が展開された。

今回の展示会には、組合傘下の6社が出展し、機織り体験や織物工場で録音した機械の音を聞き比べるコーナーを設置するなどリズムミカルな懐かしい音を演出し、江戸時代から続く織物産地と織物の良さを知ってもらう工夫を行った。

郡内織物は、OEMから脱却しようと、独自ブランドを展開する動きを強めている。価格勝負の大量生産向き的高速織機ではなく、昔ながらの低速織機をあえて用いて独自の「風合い」を追求する企業、オーガニックな素材へのこだわり、肌触りの良さなどを追求するなど、高品質のモノづくりを行っている。今後

もさまざまな展示会に出展し、販路開拓を行っていく。

出展者：(有)テンジン、(有)羽田忠織物、光織物(有)舟久保織物、(株)横田商店、武藤(株)



山梨県のブース全景

TOPICS

協同組合物流ネットワーク山梨

会員拡大説明会・ ロジ東京協同組合との交流会開催

ACTIVE KUMIAI

協同組合物流ネットワーク山梨（植松徹理事長）は9月7日、笛吹市石和町「ホテルかげつ」において、日本ローカルネットワーク（JL）山梨会員拡大説明会とロジ東京協同組合との交流会を開催した。



説明を聴く参加者

会員拡大説明会では、最初に、組合加入希望者も参加していることから、植松理事長より協同組合物流ネットワーク山梨の設立経緯や組合概要について話があり、その後、ロジ東京協同組合の三橋理事長よりローカルネットワークのシステム概要説明や加入者の体験談などの話があった。

加入者の体験談では、「我が国の経済は下降の一途を辿っており、当然のように荷主からは厳しいコスト削減の要求が突きつけられております。大手物流事業者のように全国支店網をもって事業展開を行っていくことは中小企業者では出来ないのが現状です。しかし、全国に繋がるローカルネットワークを活用することにより、全国規模にて事業展開がローコスト、ローオペレーションにて推進できます。正に中小運送事業者の力強いネットワークになっています。」など「ローカルネットワーク」に加入して良かった体験談募集」で寄せられた投稿の一部を紹介し、組合への理解を深めてもらった。



あいさつを述べる植松理事長

説明会終了後に行われた懇親会では、参加者約40名がそれぞれ交流を深め、始終和やかな雰囲気が進められた。

なお、説明会の前には、サントリー白州工場・荻崎本町運送(株)白州営業所・丸市倉庫武川20号倉庫の見学なども行われた。

TOPICS

山梨飲食業協同組合

「組合員への『情報提供強化』へ」 組合情報誌「組合だより」を発行！

ACTIVE KUMIAI



「組合だより」編集会議

山梨飲食業協同組合（清水勝一理事長）は本年9月、組合情報紙である「組合だより【第1号】」を発行した。これは、組合創立10周年を節目に、組合事業の活発な利用促進、組合活動の情報提供等を行うことにより、組合員である飲食店の更なる活性化を図ることを目的としている。発行に際しては役員を中心に記事を作成、全て手作りによる情報紙を完成させた。

「組合だより」では、組合で行っている各種事業の紹介、組合活動の実施状況・計画等を掲載している。各種事業においては、組合が行っている共同回転事業を紹介している。組合の協力業者の協力により提供されている特別価格の食材等の紹介を行い、少しでも組合員の経営を助ける情報を提供している。その他、お得情報も掲載しており、今回は「ソーラー発電設置のメリット」等の情報を掲載している。

「組合だより」は年2回のペースで発行していく予定である。また、組合の協力業者等にも「組合だより」を活用してもらえよう積極的に呼びかけを行い、組合員に少しでも多くの有益な情報を提供していく予定である。

清水理事長は「世間では景気が回復傾向にあるといわれているが、飲食店はまだまだ厳しい状況が続いている。こうした中、組合ができることは『有益な情報』を少しでも組合員に発信していく、組合員の経営を助けていくことだと思ふ。この『組合だより』が、飲食店が欲しい情報、役に立つ情報に溢れるよう今後とも努力していく。」と述べている。



組合だより【第1号】

●山梨県食品産業協議会

通常総会・セミナー開催



あいさつする長澤会長

9月6日(金)山梨県食品産業協議会(長澤利久会長、榎はくばく会長)は、県立国際交流センター会議室において平成25年度通常総会及びゼロから学べる海外販路開拓セミナーを開催した。本協議会は、「地域農水産物の利用の高度化を図るとともに、本県食品産業の振興を積極的に推進し、もって一般消費者の食生活の安定向上と本県経済の発展に寄与する」ことを目的として昭和63年に設立、これまで新商品開発に関する事業や技術向上など食に関する様々な事業を行ってきた。会員は、正会員が11

団体・企業、賛助会員(準会員)が7団体である。

本総会では、平成24年度の事業報告・収支決算、平成25年度の事業計画・収支予算、会費の額及び徴収方法が原案のとおり可決決定された。今年度も引き続き、人材育成事業(セミナー)、加工食品関係フェアへの会員企業の出展支援・助成、視察研修、各種情報・資料の提供を積極的に行っていくことを決定した。

続いて、海外販路開拓セミナーでは、海外の市場開拓も視野に入れた事業展開や、海外との取引を考えている会員等が参加した。セミナーの講師は、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)農林水産・食品部主幹山本稔氏が「農林水産物・食品の輸出をめぐる状況とジェトロの支援」と題して講演を行い、日本食品は世界中で人気であることや農林水産物・食品輸出の成功までのステップについて説明。また、ジェトロの支援体制、支援事業者などの事例について話された。参加者は熱心に聞き入っていた。



総会後、販路開拓セミナーを開催

●山梨県中小企業団体青年中央会

平成25年度 青年部代表者会議開催



9月12日(木)山梨県中小企業団体青年中央会(鈴木浩文会長)は、会員青年部代表者との意見交換などを目的に代表者会議を開催した。この会議は、青年中央会の活動目的が青年部間のネットワークの強化と青年部の活性化・会員青年部の個企業に役立つ情報交換であり、この

活動をより向上させるためには会員の意見を反映させることが不可欠であることから実施された。

会議には、各青年部の代表者を中心に20名が参加し、事前に行ったアンケート結果をもとに、各青年部の運営状況及び昨年度に青年部の助成事業を実施した3青年部から事業報告が発表された。各青年部の運営状況については、多くの団体が講演会や視察研修などの教育研修を実施していたが、青年部の中には会員が減少傾向にあることや事業が停滞しているなどの意見も出された。また、会議の最後に鈴木会長より11月に予定している青年部県大会について、各青年部に参加勧奨を促し閉会した。



挨拶を述べる鈴木会長

アンケートの結果について(抜粋)

1.昨年度どのような事業を実施しましたか?(複数回答可)

- ①講演会……………7団体
- ②視察研修……………7団体
- ③その他……………8団体(講習会、ボランティア等)
- ④行っていない…2団体

2.定例会は開催していますか?

- ①開催している ……12団体(2~12回)
- ②開催していない…7団体

3.青年部の会計はどのようになっていますか?

- ①単独会計……………11団体
- ②親組合内に予算化……………6団体

4.青年部として行うべき事業は?(複数回答可)

- ①講演会・視察研修等……………12団体
- ②異業種との交流……………10団体
- ③親会(協同組合等)のサポート……………10団体
- ④その他……………2団体(販路開拓、ボランティア)

●山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

長岡鉱場・越路原プラント、直江津LNG基地への視察研修を実施!

当視察研修の実施においては、東京ガス山梨株式会社(大房武則営業部長及び林淳一営業部課長)の協力が得られたことにより、普段では見ることができない施設を見学することが可能となり、参加者は、視察研修中も非常に熱心に質問・意見交換を繰り返してあり、有意義なものとなった。

▶新潟県 国際石油開発帝石株式会社

今回の視察研修事業を行うことにより、環境保護・省エネルギー対策に有効な資源として注目を集める「天然ガス」についての見識を深めることができ、会員所属組合及び組合傘下の企業に対して、有益な情報提供を行うことができる。」と菅原会長は語っている。



直江津LNG基地(参加者18名集合写真)



長岡鉱場・越路原プラント研修室での説明

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(菅原五男会長)は、9月19日(木)に新潟県「国際石油開発帝石株式会社」への視察研修を実施した。今回の視察研修には、当協議会会員・事務局、また視察に関して協力依頼をした東京ガス山梨株式会社の担当者を含め、総勢18名が参加した。視察先の新潟県「国際石油開発帝石株式会社」は、石油・天然ガスの開発を主体とし、エネルギーを安定的かつ効率的に供給する企業として、「エネルギーの安定供給」・「環境保全」・「エネルギーと環境の相互補完」の3つの側面から、日本の経済成長を支えている。

インターンシップ 体験記

中央会では、学生の就業意識を向上させることで将来的な県内経済の発展に寄与するという目的で、大学からの要請で毎年インターンシップ生を受け入れている。

8月19日～23日

●帝京科学大学 生命環境学部 自然環境学科 3年 恩田 ゆき

8月19日から8月23日までの5日間、山梨県中小企業団体中央会でインターンシップをさせていただきました。

私は、働くということに漠然としたイメージしか持っていませんでしたが、様々な業界の方々に出会い、お話しをすることで、実際に会い会話する大切さと共に仕事に対する熱意を感じる事が出来ました。

また、コミュニケーションから信頼を築き上げる中央会の方々の姿を間近で見ることができたのも大きな経験となりました。

働くということは、辛いこともあるが、楽しいことや喜びもあるのだと教えて頂きました。

このインターンシップは私にとってとても貴重な体験になりました。学んだことや得たことは就職活動、これからの生活に生かしていきたいです。中央会、各業界の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



中澤さん(左)恩田さん(右)

●山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 3年 中澤 友里

私は5日間、山梨県中小企業団体中央会でインターンシップを体験させていただきました。この5日間は、様々な業種の組合を訪れ、お話を伺いました。そこでは、私達が普段は聞くことのできない企業の工夫や苦労話をさせていただいたり、実際の現場を見せていただきました。そこで感じたことは、働いている方々は仕事を楽しみ、やりがいを持っていることでした。私はまだ“働く”ということにハッキリとしたイメージを持っていませんが、“働く”ということについて、何かをつかむきっかけになったのではないかと思います。

また、中小企業の方々と中央会の方々との間の信頼関係がとても強いと感じました。中央会の方々は日頃からコミュニケーションをとることを大切にしていました。お互いに知らない情報を教え合い、情報交換をするようにして支え合っていることから生まれる関係性であると思いました。

今回のインターンシップでは様々なことを教えていただき、また山梨県の産業を知ることができました。この貴重な経験を今後の人生に生かしていきたいと思います。中央会の方々、各業界の方々も本当にありがとうございました。



農産物直売所を視察

8月26日～30日

●山梨大学 工学部 循環システム工学科 3年 小松 実央

中小企業団体中央会でのインターンシップでは、様々な職種の職場に伺い、12人の経営者に会ってお話を伺うという経験をさせていただきました。経営者の方は魅力的な方ばかりでしたが、12人のお話を聞いて特に印象に残ったことは「経営者の方は利益以外のこともよく考えている」ということでした。私は今まで「企業の上の立場の人は利益ばかりを優先するものだ」と思っていたので、「社会や社員のことを考え、工夫を凝らして仕事をしている」企業が沢山あったことに衝撃を受けました。また、今回の企業訪問ではそうした純粋な気持ちで仕事に取り組んでいるにもかかわらず、規模が小さくないために不況の影響を強く受けている企業も沢山あることを実感しました。企業全体の99.7%を占める沢山の中小企業の経営がうまくいくように、日々支援をしているのが中小企業団体中央会であり、中小の企業が団結して生き残っていくために中央会は必要不可欠なのだと実感しました。中央会の皆様には温かく迎え入れていただき、5日間で有意義なものにすることができました。どうもありがとうございました。



岡本さん(左)小松さん(右)

●山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 3年 岡本 健太郎

私が山梨県中小企業団体中央会のインターンシップで学んだこと、それは企業経営における「信頼」の重要性である。現在大学生である私は、幼い頃から周囲の大人たちに信頼・信用は大切であると何度も言われてきた。しかし、正直に言えば、今までの私はその言葉を醒めた目で受け止めていた。

だが、今回のインターンシップで企業・団体の担当者の方々からお話を伺う中でその認識はまったく覆された。特に、山梨県カープレス産業株式会社の雨宮社長は、様々な信頼を獲得するための投資を惜しみなくされていた。一見すると、投資にかかる労働力、資金、時間も多く、費用に対する利益はマイナスになってしまうのではないかと思った。しかし、それによって周辺住民の支持、銀行からの評価、従業員の士気の向上など、多くの目に見えない利益があった。これにより信頼の構築は、短期的に見ればコストの増大にしかならないが、長期的に見れば大きな利益をもたらすということがわかった。

今回のインターンシップでは、第一線で活躍する経営者の方々の知識やノウハウをわかりやすく学ぶことができた。自ら起業することが私の将来的な目標であるため、この経験は本当に素晴らしいものだった。他にも多くのことを学ばせていただいたが、自分の目標を実現した暁には、できる限り社会に貢献することで今回の実験を還元していきたいと思う。



山梨県コンクリート技術センターにて説明を受けた

中小企業者のための共済事業

共済にかけて安心 伸びゆく企業

普通・総合・新総合火災共済

皆様の財産を火災や自然災害等からお守りする共済制度です。

生命傷害共済

病気・けが等により死亡や、けがによる入・通院費用等を保証する共済制度です。

休業補償見舞金共済

災害等によって休業した場合にその損失を補償する共済制度です。

医療総合保障共済

医療(病気・けが)共済とがん共済をセットした共済制度です。

当組合は、中小企業とその経営者・従業員の方を対象とした共済事業を行っております。

3つの特色で皆様の企業をパワフルにバックアップします。

- 安い掛金
- 迅速な支払
- 剰余金は契約者に還元

山梨県火災共済協同組合 山梨県中小企業共済協同組合

甲府市中央1-12-37 IRIXビル3階
TEL(055)235-7564 FAX(055)235-7538

Yamanashi Chuo Bank 山梨中銀 街並みづくり応援ローン

看板を新しくしたい! シャッターを新しくしたい!

店舗の外装、内装にかかる
設備資金ニーズに
ご利用いただけます。

クロス張り替えたい! テーブルを新しくしたい!

山梨中央銀行は、高店街や地域経済の活性化に関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

ご利用いただける方	次のいずれかに該当する法人および個人事業主のみなさま 1. 1年以上、小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方 2. 小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方、店舗等を賃貸している(または賃貸する予定である)物件所有者の方
お使いみち	以下に該当する設備資金にお使いいただけます。 1. 店舗等の看板、シャッター、外壁塗装等の外装費用 2. クロス張替え、床板張替え等の内装費用
ご融資金額	無担保扱い: 500万円以内 有担保扱い: 1,500万円以内
ご融資期間	10年以内(借入期間はごさいません。)
ご返済利率	当行所定の変動金利を適用いたします。
ご返済方法	元金均等返済
担保	個別にご相談させていただきます。
保証人	法人: 代表者 個人: 不要
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。

〇くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 <http://www.yamanashibank.co.jp/>
0120-201862(開会コード:9)
受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00 (ただし、祝日・12/31~1/3は除きます) 平成24年7月25日現在



絆と心を荷台にのせて
走れ!トラック 緑の道を

平成24年度標語最優秀作品

(一社)山梨県トラック協会 (公社)全日本トラック協会

中小企業・小規模事業者の 未来をサポートするサイト 「ミラサポ」が開設されました



中小企業庁は、中小企業・小規模事業者を支援することを目的としたポータルサイト「ミラサポ」を開設しました。

- 国や公的機関の支援施策・支援情報をわかりやすく提供します。一部の補助金については電子申請機能も活用可能です。
- テーマ別に、先輩経営者や専門家との情報交換ができる場を提供します。また、ユーザーが自らの課題に応じて、新たなコミュニティを作ることも可能です。
- 分野ごとの専門家が充実。自らの課題に応じた専門家を「地域プラットフォーム」を活用して専門家派遣の依頼が行えます。
※「地域プラットフォーム」とは、地域ごとの中小企業支援機関等が連携して作るネットワークのことです。

中小企業・小規模事業者の未来をサポートするサイト「ミラサポ」
<https://www.mirasapo.jp>

山梨県緑化センター

緑の感謝祭

10月26日(土)27日(日)
9:00~16:00

場所

山梨県緑化センター
(甲斐市篠原7-1)
TEL 055-276-2020

苗木
プレゼント!

各日9:00と12:00の2回
先着100名様

★ショータイム★

★26日(土)

10:00~ FUJI SAKURA塾
13:00~ オカリナ演奏
14:00~ バンド演奏

★27日(日)

10:00~ 竜王みゆき連踊り
11:00~ 三宅太鼓
13:00~ ジャズ演奏
14:00~ バンド演奏

◆B級グルメコーナー

富士宮やきそば・宇都宮餃子
他多数

- ◆各種販売コーナー
 - ◆寄せ植えコンテスト展示会
 - ◆盆栽展
 - ◆高所作業車無料体験
 - ◆ポニー乗馬体験(26日のみ)
 - ◆もちつき大会
 - ◆猿まわし(26日のみ)
- その他イベント多数

指定管理者/山梨県造園建設業協同組合

次世代育成支援推進センター(山梨県中小企業団体中央会)よりお知らせ

くるみんマーク認定 を目指してみませんか?

次世代育成支援対策推進法に基づく 一般事業主行動計画を策定しましょう!

従業員101人以上の企業は、行動計画の策定・届け出、公表・周知について義務づけられています。(100人以下の企業は努力義務)

仕事と子育ての両立のため一般事業主行動計画を策定して、認定に向けて是非、取り組んで下さい。

●一般事業主行動計画とは?

企業が、社員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない社員も含め多様な労働条件の整備などの取り組みを行うために、

①計画期間 ②目標 ③その目標達成のための対策と実施期間の3つの事項を定める行動計画のことです。

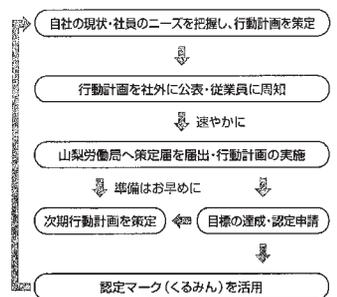
●事業主がすべきこと

- ① 一般事業主行動計画の策定
- ② 一般事業主行動計画を社外に公表
- ③ 一般事業主行動計画を従業員に周知
- ④ 一般事業主行動計画策定届けを労働局に届出
- ⑤ 一般事業主行動計画の実施

●一般事業主行動計画の詳細については、厚生労働省のホームページでご確認下さい。また、行動計画モデル例、届出様式は、山梨労働局のホームページからもダウンロード出来ますので、ご活用下さい。

<http://yamanashi-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>

このような手順で取り組みましょう



企業のイメージアップへ
税制優遇制度

メリットは!?

行動計画を策定・実施し、一定の要件を満たした会社に対し、厚生労働大臣(山梨労働局長へ委任)は認定を行っています。

- 認定企業になると、次世代認定マーク(認定:くるみん)を商品、求人広告等につけることができ、企業のイメージアップや優秀な人材の確保等を期待できます。
- 取得・新築・増改築した建物等について割増償却ができます(普通償却限度額の32%の割増償却)。
- 山梨では、13社が認定を受けています。



認定マーク(くるみん)

問題解決に取り組むやる気を応援します。●2013 組合課題対応集中指導事業

実施組合募集中!!

中小企業にとっては、厳しい経営環境が続いており先行きへの不安感は、組合事業へも大きく影響を及ぼし始めています。

『健全な組合運営の維持・基盤強化』や『事業の活性化』は多くの組合の共通課題であり、その根底には業界が早急に対応すべき課題もあります。

この事業では、組合や業界が直面する様々な課題のうち組合による取り組みによって効果が期待できる「課題」を講習会・個別指導・視察研修・診断などと組み合わせ専門家によるアドバイスを受けることができます。

支援の概要と要件

■対象

専門家等を活用して直面する課題に取り組む組合

■対象経費及び助成限度額

専門家謝金・会場借料・車両借料などに要する経費の2/3(上限100,000円)までは中央会が負担します。

■実施完了期日:2014年2月末日までに事業完了



組合・組合員企業の問題を解決!!! ●2013 個別専門指導事業

組合や中小企業が事業活動の中で直面する様々な課題のうち、その解決のために高度な専門的な知識が必要とされる問題について、専門家による指導を行い課題の解決と組合及び中小企業の活性化を目指す事業です。

支援の概要と要件

■対象

①専門家等を活用して個別面談による相談等を行う。
(弁護士・税理士・社会保険労務士・中小企業診断士・ITコーディネーター等による個別相談等が対象となります。)

②専門家を活用して組合員を対象にした講習会等を開催する。

■対象経費及び助成限度額

①個別相談…講師謝金(上限20,000円)

②講習会等…講師謝金(上限40,000円)

③診断等指導…講師謝金(上限60,000円)

■実施完了期日:2014年2月末日までに事業完了



●事業の詳細は、担当指導員または右記までお気軽にお問い合わせ下さい。山梨県中小企業団体中央会連携支援観光課 TEL.055-237-3215 FAX.055-237-3216

情報BOX

平成25年度「企業ワークショップ」のご案内

山梨高齢・障害者雇用支援センターでは、高齢者等の雇用の促進を図ることを目的に、事業主の皆様に対し各種支援を行っています。

今般、山梨県内における高齢者雇用の先進的な企業の取組内容の紹介を含む、より具体的に実践的な情報を提供し、生涯現役社会の実現に向けた高齢者雇用の疑問や課題に対するヒントを探る場を提供するため、ワークショップを開催いたします。どうぞお気軽にご参加ください。

●開催日時 平成25年10月22日(火)
13:00~16:00まで(予定)

●主催 山梨労働局
山梨高齢・障害者雇用支援センター
(山梨障害者職業センター 雇用支援課)

●プログラム

(1)高齢者雇用に係る事例発表

株式会社センティス21 取締役会長 保坂 美吉様

(2)講演:「題目:生涯現役社会の到来

~手遅れにならないための労務管理のポイント~

講師:雨宮労務管理事務所 所長 雨宮 隆浩氏

(社会保険労務士/高齢者雇用アドバイザー)

(3)パネルディスカッション及び質疑応答

コーディネーター:マーケティングコミュニケーション

研究所主宰 丸山 孝雄氏

(中小企業診断士/高齢者雇用アドバイザー)

●会場

山梨職業訓練支援センター(ポリテクセンター山梨)

〒400-0854 甲府市中小河原町403-1

【無料駐車場完備】

※公共の交通機関ではJR甲斐住吉駅から徒歩15分

●募集定員 30名(先着順に受付させていただきます。)

●受講料 無料

●申込方法

下記あてにご連絡下さい。申込書等をお送りします。

山梨高齢・障害者雇用支援センター

(山梨障害者職業センター 雇用支援課)

〒400-0031 甲府市丸の内2-7-23 鈴与甲府ビル1F

TEL.055-236-3163 FAX.055-236-3161

●申込期限 平成25年10月15日(火)

●その他 ご不明な点はお問合せください。

当日参加して下さった方に、当センターで取扱いをしております助成金のリーフレットを提供いたします。この機会に、活用をご検討ください。

2014 (第17回)

中小企業団体 新春交流会のご案内

平成26年

開催日時 1月10日(金)
16:00~18:00

開催場所 セレス甲府
中巨摩郡昭和町西条3600
(旧アピオ甲府)

年初ご多用とは存じますが、ぜひ、組合員の皆様お誘い合わせの上、多数の皆様がご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

山梨を支える企業とともに

~新しい制度ができました。~

ーニュービジネス保証ー

事業の多角化、取扱品種の転換、業種の転換など、新たな事業分野に進出するための資金を保証します。県内に事業所を有し、業歴3年以上の中小企業者の方が対象となります。申込時、および融資実行後に協会職員および商工会議所職員、商工会職員による面談調査・フォローアップを行います。

保証金額 5,000万円以内

保証利率 年0.30~1.75%(通常の保証利率から0.15%引下げ)

必要書類 通常申込書類一式のほか、事業計画書、商工会等作成の診査書

取扱期間 平成26年3月31日まで

ー省エネルギー対策保証ー

効率的な事業を行うため、省エネルギー型設備、非化石エネルギー設備、省エネルギー型照明設備、省エネ車を導入するための資金を保証します。

資金使途 設備資金(土地・建物の取得は除きます。)

保証金額 8,000万円以内

保証利率 年0.35~1.8%(通常の保証利率から0.1%引下げ)

取扱期間 平成26年3月31日まで

山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL.055-235-9700 FAX.055-232-0160
URL:http://www.cgcyamanashi.or.jp/
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp

富士吉田支店 富士吉田市下吉田2-31-14
TEL.0555-22-0992 FAX.0555-22-0921

受講者 募集

▶平成25年度

「障害者職業生活相談員資格認定講習」のご案内

障害のある労働者に対して職業生活に関する相談・指導を行う従業員のための、障害者職業生活相談員資格認定講習を開催いたします(障害者を5人以上雇用する事業所は障害者職業生活相談員の選任が義務付けられています)。

開催日

平成25年11月7日(木)~8日(金)の2日間(両日ともに9:30~17:00の予定)

会場

山梨職業訓練支援センター 甲府市中小河原町403-1(無料駐車場完備)

受講料等

受講料、テキスト料は無料です。

募集人数

40名(申込書の受付順とし、定員になり次第締め切ります。)

締め切り

平成25年10月11日(金)(当日消印有効)

申込書等

こちらから、ダウンロードできます。

http://www.jeed.or.jp/jeed/location/bunshitsu/19_yamanashi.html

問合せ先

山梨高齢・障害者雇用支援センター TEL.055-236-3163

編集 後記

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋、人それぞれの秋がありますが、10月は何をするにもよい季節なのでしょうね。体育の日もありますし、日頃、運動不足とを感じる人は、健康管理について考えて見てはいかがでしょうか。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

▶ 第8回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス科 2年 小田千紗都さんが、株式会社談露館 専務取締役 中澤 大氏を取材しました。



学生

山梨県立産業技術短期大学校
観光ビジネス科

2年 小田 千紗都 さん

老舗ホテルの 魅力を活かして

経営者

株式会社 談露館
専務取締役

中澤 大 氏



▶ 学生

まず、御社の歴史と特色を教えてください。

▶ 経営者

当社は昨年10月に創立125周年を迎えました。創業当時の1887(明治20)年は甲府がまだ市になる前で、有栖川様が山梨にお越しになる際の皇族宿泊所として、建物をご提供したのが当社が開業した契機です。その後は数々の政府関係や芸術関係の方々にもご利用いただき、1965年には近隣の宿と合同で温泉を掘削しました。1980年には旅館から現在のようなベッドスタイルのシティホテルへと改装し、現在に至っています。

特色としては、宿泊施設としてはもちろん、レストランやブライダル、宴会場なども含めたライフスタイルに合わせた全てのイベントに対応できる施設になっています。また、シティホテルでありながら源泉を持っているため、温泉好きの方からも高い評価をいただいております。

▶ 学生

次に御社が求める人材像をお聞かせ下さい。

▶ 経営者

優しさ・想像力・行動力を持ち合わせた方です。これらは全てのサービス業の基本であると思います。ホテルはお客様第一の商売であり、一見華やかに見えますが、裏では気力や体力が必要となる仕事です。想像力を豊かに、お客様が求めていること、先を読んだサービスの提供が大切です。

す。また、優しさがなければ何を求めているのか、困っているのかなどに気づくことが出来ません。ホテルでは即戦力を求める傾向もありますが、やはり大事なのはやる気、行動力だと思います。

コミュニケーション能力も重要です。お客様とのコミュニケーションの大切さは言うまでもありませんが、従業員同士のコミュニケーションも大切です。ホテルの仕事は各セクションごとに分かれています。だからこそセクション同士の繋がりが重要になります。特に当館ではセクション同士でのダブルチェックを徹底するよう心掛けており、先程お話しした想像力の中には、お客様だけでなく、他の従業員の求めているものを想像する力も含まれています。

▶ 学生

最後に御社の将来像についてお聞かせいただけますか。

▶ 経営者

「地域一番のホテル」と胸を張って言えるホテルになりたいと思っています。甲府のホテルと言えば談露館と皆様

に思ってもらえるようになるのが将来の夢です。そのため日々の細かいことの積み重ねを大切にしています。ホテルは人が商品となり、時間や空間を提供するビジネスであり、お客様には”物”ではなく”思い出”が残ります。その中でどうやったら素敵な時間や空間をご提供できるかと言うことを、スタッフにも意識してもらいたいと思っています。

また、地方都市型のシティホテルとして、婚礼にもより力を入れていきたいと考えています。当館で3世代続けて結婚式をあげていただいたお客様もいらっしゃいます。婚礼はお客様との長いおつきあいにもつながっていきますので、そのためには特に30代前の若い年齢層の方々の認知度をもっと高まるように力を入れていきたいと思っています。

歴史の中で培ってきたサービスと評判をいただいている料理は自信をもってご案内できると思います。また、リピーターのお客様や新規のお客様などそれぞれにあったサービスや対応に今後も精進していきたいと思っています。



取材を終えて...

普段、経営者の方から直接お話を聞く機会がないので、緊張しましたが、貴重な経験することが出来ました。また経営者としてのお考えを丁寧に分かりやすくお話ししていただけたので、内容もとても良く理解することが出来ました。お話の中には私が今後の生活の中で大切にしなければいけないことがたくさんありました。今回の取材で学んだことを忘れずに、今後も努力していきたいと思っています。ありがとうございました。

▶ 第9回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 情報技術科 1年 金子 誠さんが、株式会社YSK e-com 代表取締役社長 飯室元邦 氏を取材しました。



学生

山梨県立産業技術短期大学校
情報技術科

1年 金子 誠 さん

プラス志向で常にトライ、 感性を磨くべし

経営者

株式会社 YSK e-com
代表取締役社長

飯室 元邦 氏



▶ 学生

御社の概要について教えてください。

▶ 経営者

1986年12月、山梨県の情報化推進と雇用の場の創出を目的に設立しました。今では社員も200人程になり、おかげさまで業績も毎年増収増益となっています。

設立当時は、ハードが主流でソフトはあまり扱われていませんでしたが、これからはICT(Information and Communication Technology「情報通信技術」)が伸びていくという見通しでテレビ山梨やNECなどが主な株主となり会社を作りました。今はソフトが9割を占め、ハードも安くなりましたので、昔よりチャンスが増えたことを生かして会社を運営しています。公共関係から、製造分野、医療分野、ネットワーク分野に至るまで幅広く事業を展開しています。さらに東京の汐留にも支店を置いて、県外にもシェアを広げています。

▶ 学生

新入社員に期待する事とは?

▶ 経営者

まず元気で前向き、プラス志向な人に期待しています。学校で基本的な技術を学んで入社してきますので、新入社員に対してはあえて高いハードルを設けています。高い目標を設けることで、それを達成しようという強い気持ち

を持ってほしい、そういった思いからです。

また、SEとして大切なのは、技術はもちろんのこと、お客様とより良い関係を築くコミュニケーション能力が必要不可欠です。コミュニケーション能力を身に付けるには、アルバイトや多くの文化に触れるなど、様々な経験を通して感性を磨くことが一番だと思います。

▶ 学生

御社の経営方針とは?

▶ 経営者

県内にとどまらず、全国、ひいては世界でも通用しなければなりません。現在は中国など海外との取引も行っていますが、外の広い世界で通用するためにも、しっかりと人材を育成していく事が会社の発展に繋がると考えています。200人いる社員全員が今よりも10%多いパワーを出せば20人多いことと同じです。そういう形を目指しています。

会社経営は人間を大切にすることが第一です。常に相手の目線で考え、社員の目線で考える。そして、コミュニケーション、現場力、スピード、これが会社経営でのキーワードです。

▶ 学生

今後ソフトウェア産業はどのように進化していくのか?

▶ 経営者

私達の業界は日進月歩と言うより分進秒歩。1分1秒で世の中が変わっていくので、そこについていかないと負けてしまいます。たとえばスマートフォン、Suica、ETC、iPad、など様々なアイテムが登場しています。今はほとんどがアナログからデジタルに代わって、ICT化が進んでいます。まだまだ発展していく業界なので、やはりICTを強化していく会社は間違いなく伸びていきます。そこには様々なビジネスチャンスが生まれます。



取材を終えて...

今回は経営者の方へインタビューする貴重な機会を得ることが出来ました。インタビューをしていく中で、学生時代に感性を磨いておく事により将来できる仕事の質が変わると教えていただきました。今まで通り生活しては知ることのできないお話だったので、学生時代に出来るだけ多くの事に挑戦して、感性を磨いていきたいと思っています。貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

▶ 第10回目となる今回は、山梨学院大学 法学部法学科 1年 名取沙莉那さんが、株式会社かいや 代表取締役社長 田中俊男氏取材しました。



学生

山梨学院大学
法学部 法学科

1年 名取 沙莉那 さん

不断に 自分を見直そう

経営者

株式会社 かいや
代表取締役社長

田中 俊男 氏



▶ 学生
はじめに、御社の概要と特色を教えてください。

▶ 経営者
昭和52年に創業し、主にあわびの煮貝を取り扱っています。戦国時代、駿河の清水港は武田の領地で、そこから甲府へ海産物を送っていました。当時あわびは騎馬軍団の戦場食として塩漬けにされていましたが、戦が減り、山賊が最も恐れられるようになると、塩漬けから醤油漬けに変化していったのです。清水から馬の背に揺られる間に生醤油の酵素が働いて、甲府に着くころちょうどあわびが美味しくなる。これが煮貝の始まりといわれており、現在ではあわび以外にも多くの貝を煮貝にして販売しています。

歴史は浅いけれど36年間この狭い世界でやってこられたのは、やはり社訓にもあるように、謙虚な気持ちと不屈の精神で美味しいものを造ってきたからでしょうか。わが社の特色は、狭い世界の中で商売をしているということです。特殊なものを販売する。だからこそ楽しいですね。

▶ 学生
経営者として喜びを感じる瞬間はありますか。

▶ 経営者
社員からどれくらい尊敬されているのかっていうのはよく考えています。ですから私生活のことで相談されるととても嬉しいですね。一番喜びを感じるのは、感謝されていると実感したときでしょうか。「無財の七施」という、笑うだけでいいよ、席を譲るだけでいいよ、といった教えがあります。気持ちだけで相手に施すことは出来るんですね。よくみんなに言うのですが、「残心」、心を残さない、というのが私の座右の銘です。これは、立ったときに椅子をもとに戻したり、トイ

しを出たときにスリッパを揃えておいたりするなどという些細なことなんです。簡単なことですが、これをしておかないと次に使用する人は不愉快な気持ちになりますよね。ですから、わが社の商品すべてにも、心を残さないよと言っています。

▶ 学生
現代の若者の仕事に対する意識を見ていて感じることはありますか。

▶ 経営者
ゆとり教育の中で育ってきた今の若者たちには、積極的な子が少ないと感じます。仕事が出来ないわけではなく、言わなければいけない。そういう子は、商品を作っている次のステップで付加価値を作ろうとしても出来ないんですね、絶対。出る杭は打たれると言うけれど、出て行かないと抑えられる苦しみはわからない。ですから、自分の意見は言うこと。そのためには、自分の持っている基礎知識や、礼儀・態度を見直す必要があると思います。

あとは、自分に厳しい人になってほしいですね。そうすれば、規律が守られた職場で食品が造れるようになるでしょう。私はよく、身だしなみについて言いますが、それも同じで

取材を終えて...

経営者の方に直接お話を伺う機会はあまりないので緊張しましたが、とても良い勉強になりました。取材当日は、従業員の方が立った状態で迎えてくださり、また、取材を終えたあとも同じようにお見送りいただきました。ご丁寧にご対応くださり、ありがとうございました。私が就職活動をするのはまだ先のことですが、田中社長にいただいたお話は、自分の将来を考えていく上でとても貴重なご意見となりました。お忙しい中この企業レポートにご協力くださった皆さま、誠にありがとうございました。



▶ 第11回目となる今回は、山梨学院大学 経営情報学部 経営情報学科 1年 矢澤宏美さんが、株式会社旅館きこり 代表取締役 山下安廣氏 取材しました。



学生

山梨学院大学
経営情報学部 経営情報学科

1年 矢澤 宏美 さん

ネットに頼らず 自分の足で見よう

経営者

株式会社 旅館きこり
代表取締役

山下 安廣 氏



▶ 学生
会社の概要について

▶ 経営者
当館は、県下最大の湯量を誇る「石和温泉」にある純和風旅館です。昭和48年に創業。40年の歴史を誇ります。「きこり」という名前から連想される通り、木の温もりにあふれた部屋を取り揃えています。樹齢二千年の古代桜で造られた大浴場や桜の香りの露天風呂など各種温泉浴が楽しめます。洋風ホテルが多いなかで、木の香りと日本の魅力たっぷりの庭園は当館の誇りです。

▶ 学生
従業員を採用する上で重視することは？

▶ 経営者
目を合わせて話ができるかどうか大事です。人と話して目を見れば分かりますが、それはよくないです。目を見ていればやる気があるかどうか、というのが分かりますし、もともと若者の目はきらきらしているのです。歩き方も注視しています。面接時に実際に歩いてもらうなどしてその人の歩き姿をみることもあります。長い経験からその人の歩き方からどういふ人物なのか分かります。だからだと歩く人はよくないですね。挨拶と身だしなみは、最低限できていなければいけません。他人から注意された時点で改善の余地があるからです。若い人を採用することは経営者として重い責任が生じますが、若者の考え方を取り入れることが、企業の発展に通じるものだと思います。若いアイデアや企画力が今後の経営には、是非とも必要です。いろんな場面で若者には積極的に発言してほしいと思います。経営者も若い人々が発言できる職場環境の整備をはかる努力が必要だと感じています。

▶ 学生
旅館経営の魅力と大変なところは？

▶ 経営者
近年は外国人のお客も増えてきており、様々な人と関わることが

できることがこの魅力だと思います。お見送りをする際に、帰りのお客からの感謝の言葉「ありがとう」と言われることが、何にもまして励みとなります。この仕事をやってよかったな、と思う瞬間です。「人とのつながりや人を思うところが仕事には大切だと思います。」

お客様の目線に立つて考えることです。お客様だったらどう思うか、常に考えています。しかし、男性と女性とでは目線が違うのでそこが難しい。お客様のニーズに合った「癒し」や「おもてなし」をどのように提供していくか、が常に頭を悩ますところです。

お客様の目線に立つて接客、応接しているつもりでも、お客様からの苦情や苦言をいただくことも多々あります。そのときはその苦言に対して、どういふことなのか、旅館側からしっかり説明をすることにしていきます。時には他県まで行って苦情に対応することもあります。大抵のお客様には理解してもらうことができました。

▶ 学生
今後の旅館経営の展望について

▶ 経営者
富士山の世界遺産登録や東京オリンピックの開催など、山梨の観光を取り巻く環境は好転しつつあります。この機会を積極的に活用し、誘客に結びつけていきたいです。変わり行くお客様のニーズに合わせたサービスを提供していくことも大切です。特に健康を意識したものに。そのために、シニア向けフ

取材を終えて...

企業レポートには今回二度目(今回は取材者に同行し取材方法見学)の参加となりましたが、とても緊張しました。ですが、経営者の方から直接お話を聞けるという機会は滅多にありません。本当に貴重な体験ができたと思います。今回の取材の中で、自分自身で経験することが大切という話がありました。インターネットが普及し、パソコンが一台あれば大抵のことが出来る時代です。ですが、それに甘んじて何でもインターネットを通じて済ませてしまうのではなく、自分の足で歩き、人と触れ合いながら物事を進めていくことが大切ということです。そしてそれがコミュニケーション能力の向上にも繋がるのです。私はこのお話が今回の取材の中で一番印象に残りました。私も何かとインターネットで解決しようとしてしまいます。手間を惜しまずに、きちんと自分の足で行動していこうと思います。そして今回の取材で学ばせていただいたことを今後の大学生活にも役立てていきたいです。ありがとうございました。

トボール大会やゲートボール大会などのスポーツイベントを開催しています。地域おこしの一環でもあり、スポーツに興味のある多くのシニアの方々と絆を深めることで、石和温泉の知名度を高める努力をしています。

これからは花を礎としてお客様を呼び込んでいきたいと思っています。山梨県全体でも芝桜や彼岸花など花に関連した観光地があります。花は特に女性には好まれるため、主に女性をターゲットとしていきたいです。

▶ 学生
今の学生に足りないこと、必要なことは？

▶ 経営者
いろんなことにチャレンジしてほしい、色々な経験をして欲しいと思います。今はインターネットが普及し、ネットを通じで色々なことができるようになりました。どこを見ても下を向いてスマートフォンをいじっているひたばかり。しかしインターネットは一種のツールだと思う。自分で足を運んで実際に見たり聞いたりするべきです。親を大切にすること。日本で親を尊敬している人は40%くらいしかいないと聞きます。今の若者の中にも親を尊敬しない人が多いですが、親を敬って大切にしなければいけないと思います。

